



# 枯死した国指定天然記念物である「<sup>よりともすぎ</sup>頼朝杉」 <sup>こうけいじゆ</sup>などの後継樹の里帰り

## ー林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービスー

### ポイント

①静岡県島田市にある国指定天然記念物「<sup>ちまんじ</sup>智満寺の十本杉」のひとつで、倒木により枯死した「<sup>よりともすぎ</sup>頼朝杉」（スギ）、②埼玉県深谷市の天然記念物で枯死した「<sup>さざんか</sup>山茶花」（サザンカ）、③栃木県芳賀町立芳賀東小学校の名木「<sup>こうとく</sup>好徳の松」（クロマツ）の3つの後継樹の苗木が国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センターから各地に里帰りします。

### 概要

茨城県日立市にある国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センターでは、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、これらを品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。このサービスを利用して増殖を要請され、さし木や接ぎ木により増殖し育てた①静岡県島田市の国指定天然記念物「智満寺の十本杉」のひとつで、倒木により枯死した「頼朝杉」（スギ）、②埼玉県深谷市の市指定天然記念物で枯死した「山茶花」（サザンカ）、③栃木県芳賀町立芳賀東小学校の名木「好徳の松」（クロマツ）の3つの後継樹の苗木が各地に里帰りします。

### 問い合わせ先など

国立研究開発法人 森林総合研究所 林木育種センター

事業責任者：遺伝資源部 探索収集課 課長 山田浩雄

担当者：探索収集課 遺伝資源収集係長 大塚次郎

遺伝資源収集係 成田有美子

広報担当者：育種企画課 調整係長 小野雅子

Tel : 0294-39-7002 Fax : 0294-39-7306

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、茨城・栃木・埼玉・静岡の各県政記者クラブ、日立市役所記者クラブ、島田市記者クラブに配付しています。

## 背景・経緯

---

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。このため、森林総合研究所林木育種センターでは、天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、このような樹木が衰弱している等で所有者等からの要請により後継樹の苗木を増殖し、里帰りを行うサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに全国の 170 本以上の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施しています。後継樹の苗木は、さし木や接ぎ木で増殖したクローンの苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として大きく成長することが期待されます。

## 内容

---

今回里帰りする後継樹は以下の 3 件の苗木です。

(1) 国指定天然記念物「智満寺の十本杉」のひとつであった「頼朝杉」

「頼朝杉」は、静岡県島田市の国の天然記念物に指定されている「智満寺の十本杉」のうち的一本で、源頼朝が植えたと伝えられている推定樹齢 800 年の巨木でしたが、平成 24 年 9 月 2 日に倒木により枯死してしまいました。平成 25 年 5 月に NPO 法人木づかい倶楽部と智満寺から後継樹の増殖の依頼を受けました。この木の穂木を用いて当センターの温室でさし木増殖を行いました。倒木から穂木の送付までかなりの時間が経っていましたが、3 本の苗木を育成することに成功し、今回 30cm 程度に育てた苗木 1 本が 6 月 29 日に智満寺に里帰りすることとなりました。

(2) 埼玉県深谷市の市指定天然記念物に指定されていた「山茶花」

埼玉県深谷市の市指定天然記念物に指定されていた「山茶花」は、昭和 35 年の指定当時の樹高が 13m、推定樹齢 400 年でサザンカとしてはかなりの大きさの古木でしたが、現在は枯れてしまいました。平成 24 年 5 月に市の教育委員会から後継樹の増殖の依頼を受け、同年 6 月に穂木を採取してさし木増殖を行いました。その結果、4 本の苗木を育成することに成功し、今回 30cm 程度に育てた苗木 1 本が 6 月 24 日に地元で里帰りすることとなりました。

(3) 栃木県芳賀町立芳賀東小学校の名木「好徳の松」

栃木県芳賀町立芳賀東小学校の敷地内に生育している「好徳の松」は、樹高約 5m、推定樹齢 150 年のクロマツです。この場所は、明治初期に芳賀東小学校の前身となる「好徳館」が開校されていました。このため、地元では好徳の松と呼ばれて慕われています。根元部の空洞化が進んで治療が施されていますが、平成 25 年 11 月に町から後継樹の増殖の依頼を受け、平成 26 年 2 月に接ぎ木増殖を行いました。その結果、5 本の苗木を育成することに成功し、今回 50cm 程度に育てた苗木 2 本が 6 月 28 日に芳賀東小学校に里帰りすることとなりました。

図、表、写真等



静岡県島田市の「頼朝杉」  
(生存していた頃の写真)



(倒れた時の写真)



「頼朝杉」の後継樹  
(さし木苗)



埼玉県深谷市の「山茶花」



「山茶花」の後継樹 (さし木苗)



栃木県芳賀町の「好徳の松」



「好徳の松」の後継樹 (接ぎ木苗)